

目 次

1. 挨拶…………… 佐竹 明 (フェリス女学院大学 学長) (1)
2. フェリス日本文学国際会議に (閉会の辞より)
…………… 宮坂 覺 (大学院人文科学研究科長・文学部長) (2)
3. 日本文学国際会議の今後に向けて
…………… 森 朝男 (フェリス女学院大学 文学部日文学科主任) (4)
4. フェリス女学院大学 日本文学国際会議プログラム…………… (6)
5. 記念講演
異文化と出会う日本文学
—— ノーベル賞百年の川端康成・大江健三郎、そして漱石・芥川——
…………… 平岡 敏夫 (日本学術会議会員・筑波大学名誉教授) (8)
6. 個別報告発表論攷
 - (1) 遠藤周作「沈黙」—— ロドリゴの分身を探って——
…………… Mark Williams[マーク・ウィリアムズ](イギリス・リーズ大学) (37)
 - (2) 遠藤周作「深い河」
…………… 林 水福[リン・シュエイフ](台湾・国立高雄第一科技大学) (48)
 - (3) 島田雅彦「ミイラになるまで」—— 異文化から見た——
…………… Alfonso Falero[アルフォンソ・ファレーロ](スペイン・サラマンカ大学) (62)
 - (4) 小林多喜二「營養検査」—— 語りと革命——
…………… Norma Field[ノーマ・フィールド](アメリカ・シカゴ大学) (75)
 - (5) 芥川龍之介「羅生門」
…………… Teresa La Rocca[テレサ・ラ・ロッカ](イタリア・ローマ大学) (83)

- (6) 夏目漱石「こゝろ」
 …………… 尹 相仁[ユン・サンイン](韓国・漢陽大学) (89)
- (7) 明恵上人「夢記」
 …………… Frédéric Girard[フレデリック・ジラルール](フランス・国立極東学院) (100)
- (8) 藤原定家「旬題和歌」—— 歌のイメージと詩のイメージ——
 …………… 雫 雪艶[ジュエン・シュエイエン](中国・清華大学) (119)
- (9) 上田秋成「雨月物語」—— 「色好み」伝統の継承と挫折——
 …………… 鄭 順姫[チョン・スンヒ](韓国・梨花女子大学) (128)
- (10) 芥川龍之介「庭」—— 異文化の交差と時差——
 …………… 安藤 公美[アンドウ・マサミ](フェリス女学院大学) (136)
- (11) 紫式部「源氏物語」—— 漢詩文引用をどう読むか、手習巻の「陵園妾」を中心に——
 …………… 石阪 晶子[イシザカ・アキコ](フェリス女学院大学大学院) (148)
7. 座長基調報告・全体会議 (記録) <近代>宮坂 覺(フェリス女学院大学) (166)
 <古典>三田村雅子(フェリス女学院大学)
8. 研究発表日本語要旨…………… (194)
9. 研究発表英語要旨…………… Adrian J. Pinnington (早稲田大学教授) (216)
10. 発表講師紹介…………… (237)
11. 編集後記 (付・表紙背景の写本解題)…………… (239)

《表紙背景の写本解題》

『藤川百首』

本論集表紙並びに国際会議のポスター・パンフレットの背景の古筆は、フェリス女学院大学付属図書館蔵「藤川百首」(蔵書番号911, 148 F68)の一部である。室町末期頃の書写かと見られるもので、卷子装一軸である。台紙の紙高二九・二 cm、本紙の紙高二五・三 cm、字高二一・三 cm で、見返しは、金銀切箔ちらしである。外題、内題、奥書の類は見られず、春二十首、夏十首、秋二十首、冬十首、恋二十首、雑二十首の合計百首である。歌題はほぼ四字下げで、一首一行書である。また、箱入りであり、上蓋に毛筆で「藤川百首」「里村紹巴筆」「一軸」と書かれ、傍らに「極札添」と書かれているが、極札は不明である。

(フェリス女学院大学人文科学研究科日本文学専攻博士後期課程 丸山陽子)

異文化との出会い

— フェリス女学院大学日本文学国際会議 —

発行：2003年3月31日 初版1刷

編集：宮坂 覺・森 朝男・三田村雅子・藤江 峰夫

編集委員：安部 清哉・末岡 実 © SUEOKA Minoru

発行者・：〒245-8650 神奈川県横浜市泉区緑園4-5-3

TEL 045(812)8211(代) FAX 045(812)8822

フェリス女学院大学 佐竹 明

印刷所・：MEDIA・PACK メディア・パック

製本所 〒178-0061 東京都練馬区大泉学園町6-13-20

TEL & FAX 03(5947)9135
